

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>

新しい議員14人



① 宮崎陽子
無所属 1期



② 浅沼隆章
無所属 1期



③ 山下則子
公明党 1期



④ 山本忠志
公明党 2期



⑤ 沖山恵子
無所属 2期



⑥ 菊池 良
無所属 2期



⑦ 小川 一
自由民主党 2期



⑧ 山下 巧
無所属 2期



⑨ 岩崎由美
無所属 3期



⑩ 奥山幸子
無所属 5期



⑪ 廣江 才
無所属 2期



⑫ 小澤一美
自由民主党 8期



⑬ 浅沼憲春
自由民主党 2期



⑭ 奥山博文
無所属 7期

各番号は議席番号です。

第3回八丈町議会定例会 平成30年9月4、5日開催

第1回八丈町議会臨時会 平成30年10月25日開催

No.
188
2018.11.25

目次

- 新たな議会がスタートしました 2P
- 一般質問(9月定例会) 3P
- 定例会の質疑から 8P

新たな議会がスタートしました

新議長就任あいさつ

八丈町議会議長

奥山博文

平素より八丈町議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝を申し上げます。

この度、議会議員選挙により、私達14名は議員の職を与えられ、任を果たすこととなりました。

去る、平成30年第一回八丈町議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、第28代議長に就任することになりました。身に余る光栄であり、また、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

八丈町は、財政状況も厳しい中、人口減少、防災対策、地域社会の担い手の育成など、課題が山積しており、非常に厳しい状況が続いております。

私たち議会議員の使命は、こうした課題を解決するために、町民の皆様の声を真摯に受け止め、町長をはじめとする執行機関と力を合わせ、有効な施策を推進し、課題の解決に向けてしっかりと取り組んでいかなければならないと考えております。

今後とも、町民の皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます、就任のご挨拶いたします。



議長就任の挨拶

正副議長、および委員会委員の選任

10月25日(木)平成30年第一回八丈町議会臨時会において正副議長、並びに各委員会委員の選任をいたしました。

議長 奥山 博文

副議長 浅沼 憲春

◎常任委員会

総務文教委員会

定員7名

消防、財務、税務、教育、社会福祉、保健衛生その他の委員会に属さない事項を扱う。

委員長 山本 忠志
副委員長 沖山 恵子
委員 宮崎 陽子

浅沼 隆章
岩崎 由美
小澤 一美
浅沼 憲春

経済企業委員会

定員7名

土木、産業、商工、観光、都市計画、水道、運輸、病院に関する事項を扱う。

委員長 奥山 幸子
副委員長 菊池 良
委員 山下 則子

小川 一
山下 巧
廣江 才
奥山 博文

◎議会運営委員会

定員7名

議会を円滑に進めることを目的とした審議を行う。

委員長 岩崎 由美
副委員長 小川 一
委員 浅沼 隆章

山本 忠志
奥山 幸子
廣江 才
浅沼 憲春

(任期)

常任委員会・議会運営委員会

(平成30年10月25日)

平成32年10月24日

◎監査委員

小澤 一美

(任期)

(平成30年10月25日)

平成34年10月24日

一般質問 9月定例会

宇喜多秀家公の住居跡を史跡としての残す考えはないか

答
できるだけ所有者の意向に沿って対応したい



水野佳子 議員

◆所要時間 8分

現在私有地となっている宇喜多秀家公住居跡地について伺う。

八丈町の流人第一号となり、島で50余年余生を過ごした秀家公の住居跡は、歴史を伝える貴重な史跡と考える。敷地内には岡山市や瀬戸内市から贈られた松も植樹され、秀家公が植えたといわれる蘇鉄も残っている。

民間の有志や町の交流も実を結び、ここ数年、歴史を訪ねて来島する人も多くなった。住居跡の付近は石垣や昔ながらの細い道も残

っており、観光スポットとしても価値のある場所となっている。現在、ふるさと村の焼失や歴史民俗資料館の一時移転などで島の歴史を伝える施設が少ない。私有地である住居跡は、所有者の善意で個人の敷地を多くの人が訪れて見学をさせてもらっているのが現状。トイレも

なく、不便と聞いている。民間だけではその維持管理にも限界がある。町は今後どのように維持管理していくのか。

答
教育課長 住居跡を多くの見学者が訪れていることは承知している。史跡として指定し保存する場合には、文化財としての細かい調査が必要。史跡として指定されると知名度は上がってもその使用については制限がかかり、不便になることもある。現状としては、維持管理については所有者にお願いしたい。町としてもできるだけ所有者の意向に沿って対応したいと考えている。



岡山城跡堀の石・秀家公植栽の蘇鉄

答
産業観光課主幹 観光課の支援として年3回敷地内の伐採を行っている。また、敷地を借りての案内板の設置等を行っている。トイレの設置については、再度検討させていただく。
(なお、水野佳子議員は任期満了のため引退しました。)

教育環境の整備について

答 調査してから検討する

量が使用可能最大値に達しているところもあるため、調査してから検討したい。

閩町立学校へのタブレットの導入計画は。

閩今夏は全国的に暑く気象庁も「危険な暑さ」と表現するほどの酷暑の夏であった。

八丈島もその例外ではなく、小・中学校のエアコン未設置の特別教室での授業は過酷だったと聞いている。特別教室へのエアコン設置について町の所見を問う。

閩教育課長 普通教室には全て設置済みだが、特別教室は一部未設置の所もある。現在、学校の電気室の容

通学路の危険回避、安全確保に努めたい。



地域包括支援センター移動の際にサブ看板を

答 従来の名称を継続して使いたい

閩平成31年度に「地域包括支援センター」を庁舎内に移動する際に、高齢者あんしん相談所、というようなサブ看板を掲げて、親しみやすい場所にしてはどうか。

閩福祉健康課長 新しい支援センターは、庁舎正面玄関を入ってすぐ左側の部屋とし、職員体制は保健師、社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネ）、3〜5名を考えている。

閩教育課長 ブックスタート事業は平成28年度から30年度（現在）まで、133名に実施している。その結果、読み聞かせの

「地域包括支援センター」という名称は、過去12年間使われており住民に浸透している。またこの名称は介護保険法改正の柱の一つであり、できるだけ使用するようにとの国の指導もあるため従来の名前を継続して使いたい。

乳幼児のブックスタートの継続として「ブックセカンド」事業を

答 まずは第2次八丈町子ども読書活動推進計画に沿った事業を推進していきたい

閩現在のブックスタート事業の効果をさらに高めるために、ブックセカンド（仮称）と題して事業を継続し、社会性や聞く力が高まる3歳児健診の際にも絵本を贈呈してはいかかがか。

また、実施している関連部署とボランティアとの連携も強化されている。ブックセカンド事業については、平成30年3月に第2次八丈町子ども読書活動推進計画を作成したので、その計画に沿った図書館事業を推進していきたい。



小中学校にエアコンの整備はできないか

答
未設置の特別教室等は、調査してから検討する



沖山 恵子 議員

◆所要時間 11分

今年の夏は猛暑で、子どもを迎えに体育館に行った保護者は体調を心配し、休んだ方がよくないかと思っただけです。

東京都の小中学校普通教室のエアコン設置率は99.9%で全国一だが、議員として学校行事に招待され普通教室・特別教室・体育館に行った時快適だった事は少なく、残り0.1%は島嶼と思われた。

昨今は災害が多発し、校舎や体育館は避難所として使われる。国も教育施設としてではなく、避難所として

この補助金を考えて行くと言っている。予算的に教育施設としての整備が難しいければ、避難所として体育館等のエアコン設置の推進を希望する。

問 普通教室のエアコンの設置状況は。

答 教育課長 普通教室は100%だが、特別教室や体育館は無い所もある。

問 今後の設置予定は。

答 学校によっては電気の使用容量的にこれ以上付けられない可能性があるため、各学校の容量や設備を調査し、改修の範囲を確認した後検討したい。

インバウンド対策で和訳機の導入を

答
和訳機を観光商工係で購入し、検証していきたい

南海タイムスに外国人の観光客が増えているが、言葉の壁が問題と載っていた。私も英語が苦手な良い方法を探したら、ボタンを押して日本語で話すと英語に、英語で話すと日本語に訳す機械が2〜3万円で売っていることを知った。しかし、観光施設が個々に購入整備するのは大変だと思う。

問 町が実験的に和訳機を購入、町営施設で効果を検証し、良ければ町主導で全国的に導入することはできないか。

答 産業観光課主幹 外国人観光客の増える中、インバウンド対策の必要性は認識している。観光商工係で購入し検証していきたい。

ミス八丈島の選考方法は変更できないか

答
ミス八丈島選考会で決定しているため、意見を報告し、検討課題とする

ミス八丈島のなり手がなく大変だと聞いた。島外に募集をしたとしても、飛行機の欠航で帰れない等を考慮し応募が無いそうです。

問 ミス八丈島は昨年と同じ人だ。大島はミス椿の女王とミス大島と複数のミスがあり選び方も参加するイベントも違う。八丈でも取り入れ、八丈高校の生徒に依頼し、3月末のフリージア祭りでミスフリージアを選び、島内イベントに1年間参加してもらい、翌年慣れたところで都庁等の訪問に行く。ミス八丈島は広く募集し島外イベントに限定し活動してもらおう。そうすれば活動しやすく、島外の人からもミスを選べ応募者も増えると思う。

問 ミス八丈島が昨年と同じ

人の経緯は。

答 産業観光課主幹 ミス八丈島選考会で決定している。その中で今年から2年間継続できることが決定されている。仕事に慣れ経験を生かしたPR活動ができるというメリットがある。

問 選考方法の見直しは考えられないか。

答 ミス八丈島選考会に委託しているため、町としては答えられない。意見を報告し今後の検討課題とする。



ミス八丈島の活動

災害時の避難場所と高齢者支援の
仕組みづくりを

答 地域の方との連携は共助の方向
で進めていく



奥山 幸子 議員

◆所要時間 32分

今、全国いたるところで様々な種類の災害がおきている。西日本豪雨の被害を教訓とし、災害対策を強化しておくことが大切であると思うが町の考えは。

町 地震、噴火、津波など、それぞれに対応したハザードマップをもとに、どの地区がどの避難所に入るのかを決めておく必要はないか。

町 総務課長 岡山県真備町に職員2人を派遣し避難所支援を行ったが、八丈町へ

難所の機能を充実させ、使いやすい避難所しておくべきでは。厨房も使い慣れしておく必要がある。

町 庁舎内の研修施設は床張りだが、ゴザと毛布は用意している。避難時には厨房だけを使うことにはならぬので多面的に対応する計画だ。

町 南海トラフ地震について、国から臨時情報が出された場合、町として避難勧告を出すか。

町 被災状況と情報の出方しだいなので、その時に対応したい。

町の補助金の仕組みを
明らかに

答 補助事業審査委員会
で可否や額、割合を
決めている

町 町の補助金には様々なものがあり、住民にとってなくてはならない支援となっている。ただ、内容を見る

と補助の割合が異なっている。仕組みや理由がはっきりしない。補助金の仕組みをわかりやすく説明していただきたい。

町 補助金にはどのような種類があるのか。

町 企画財政課主幹 国や東京都の政策に基づき、町も応分を補助するものと、町の施策として独自に補助するものがある。

町 自己資金に対する一定割合を補助するものと、ほとんど全額を補助するもの、を、どのような基準で決めているのか。全額補助が多いがこれは委託金では。

町 補助事業審査委員会で公益性、必要性、妥当性を審議し、可否や額、割合を決めている。申請に応じて補助している。補助金と考

町 補助を受けている団体、または個人は事業内容と収支報告をしているか。

町 報告は義務付けられているのですべての団体で報告を出している。

町 補助を受けている団体は独自に報告書を作るべきだが、町職員が作っている事例もあると聞く。そうであれば厳しく指導すべきだ。

町 手伝っている団体もある。一義的には団体が作るべきで指導していく。

町の農業事業において使用される農薬は

答 農薬に頼らない技術について、効果的なものがあるれば検討していきたい



岩崎 由美 議員

◆所要時間 26分

ている。ネオニコチノイド系農薬は5種類ある。

問 八丈島で使用されている農薬の量(たとえば農協で流通している等の条件において)はどのくらいか。

答 農協で流通している農薬の推定量は年間約6,000kg。他に通信販売等で購入している人もいる。

問 上記の問題について把握していたか。把握していたとしたらどのような対策をとったか。

問 八丈町で使用されている農薬の種類は。ネオニコチノイド系農薬は使用しているか。

答 産業観光課長 殺虫剤、殺菌剤、除草剤、展着剤、松枯れ防止の農薬を購入し

答 最近のテレビの放映で知った。農薬の使用方法については、認可されているものなので、町としても適用法を厳守しながら適正な使用を続けていきたいと考えて

ている。

問 非グリホサート系農薬なども検証してみても。また「東京都島しょ農林水産総合センター」で紹介されている農薬に頼らない技術を担い手育成事業で普及させる予定は。

答 ラウンドアップを使っているが、他のものについても考えていきたい。指導にはセンターの方も入っているもので、効果的なものがあるれば検討していきたい。

「八丈町基本構想・基本計画」の検証と策定についての課題は

答 新たな視点を取り入れて検討していきたい

問 もなく「八丈町基本構想・基本計画」の改訂時期になる。

問 現在策定されている「基本構想・基本計画」策定はどのような経緯で行われた

か。

問 企画財政課長 改正前の地方自治法の規定に基づき、平成23年度から平成32年度の10年間を計画期間として、議会の議決を経て策定された。基本構想は自治体の目指す将来像と将来の目標を明らかにし、実現するための基本的な施策の大纲を示したものである。関係団体との懇談会やパブリックコメントなどを経て、各分野の皆さまの思いの詰まったものとなっている。

町初の基本構想は昭和55年度に5年間の前期基本計画と合わせて策定された。以降、基本構想は10年ごとに、基本計画は5年ごとに国内や町をとりまく社会情勢等を背景としつつ、掲げられた施策の検証を行い、盛り込むべき内容を見直し現在に至っている。

問 時代の変化が激しい中で、現在のものが実効的であると考えるか。

答 時代の変化は激しく、人

口を取り上げても、人口減少を踏まえ8,000人台を維持するという現実的な数値を目標としたが、現在の人口は7,500人を下回るという大変厳しい現状。今後は、いわゆるSDGsなどの新たな視点も取り入れていきたい。

問 策定における課題は。

答 計画だけ作り、なかなか検証されていない。これについてはしっかりと取り組んでいければと考える。いかに住民の方を巻き込むか、特に若い世代が将来の八丈島をどう描くのが大切だと考えるので、なるべく多くの住民の方に参加して頂けるようにしたい。

問 計画を立てる際のファシリテーター、コーディネーターとなる人材を育てては。

答 ファシリテーター、コーディネーターの必要性は感じていたので、検討していきたい。

東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーの取り組みについて

答

正式な決定は来ていないが、東京都実行委員会と調整したい



浅沼 憲春 議員

◆ 所要時間 7分

6月議会において、オリンピック・パラリンピックの聖火リレーの誘致について質問したが、7月20日に東京諸島議員研究会で東京都に要望活動を行った際、東京オリンピック・パラリンピックの潮田準備局長から、伊豆諸島と小笠原諸島でも聖火リレーを行いたいとの回答が得られた。聖火の輸送方法など色々な課題もあり、具体的な事は今後考えていきますとの発言があり、八丈町にも聖火が来ることは現実味を帯びてき

た。東京都に要望した際、東京都内を15日間でリレーすると伊豆・小笠原諸島は短時間でのリレーを想定しており、八丈町でリレーを行う際には観光イベントを観光業者も取り込み、島の経済効果を生み出すことを考えるべきではないのか。

八丈町としても、フリージアまつりや産業祭のようなイベントを開催して聖火を迎えるよう提言するが、八丈町はどのような取組みを考えているのか。

国土交通省（事業主体は東京都）から、訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業として、訪日外国人旅行者の受入環境の整備を緊急に進めるため、伊豆・

答教育課主幹 聖火リレーの実施について正式に決定を受けていないので、実施する前提で回答する。現在具体的な取組みやイベントは考えていない。説明会の

資料の中にはセレモニーの種類も記載され、それぞれ起案プログラムがありコース設定でセレモニーが変わるので、今後東京都、実行委員会と調整して検討したい。

インバウンドの対応策

答

増加が見込まれるのでインバウンド対策に引き続き取り組んでいく

この夏は、多くの外国人観光客が八丈島に来島された。私が知っている外国の方はアメリカ・ロシア・フランス・中国等から来られた。共通して言われていたのが、外国語表示の不足やバスでの外国語アナウンス等の観光に関するものだった。

小笠原諸島に5,400万円（国費1,800万円）で、多言語案内標識の製作と旅行環境整備事業補助金による東京都島しょ地域の整備に対する支援として1億9,000万円（国費6,333万円）で多言語案内標識看板の製作に補助金で支援されていると思うが、これらは船客待合所周辺に整備されるものであり、島内では、他にも外国の方が訪れる観光地や名所旧跡にも、外国語で案内できるよう対応するべき時が来ているのではないのか。都会より地方を好むインバウンドの方も増加しているので、島ならではのおもてなしや、会話が難しいのであれば標示で対応できるように、空港や港は勿論、宿泊・観光施設や飲食店を取込み、宿泊ルールや展示物、メニュー等への多言語表示をお願いしたり、国際交流員のマンタスさんにインバウンドが不便な事に積極的に協力していただくべきではないのか。

八丈島が増加している外国の方々の減少を招きかねない恐れがあるので、早急な対策も考えるべきでは。

答産業観光課主幹 現在多言語案内標識は主な観光施設22カ所に設置している。ここ数年で新設・更新している案内板は英語表記を実施している。英語版観光マップの作成、昨年度観光協会が観光協会、空港、底土船客待合所の多言語対応タッチパネルの整備を実施している。ご指摘の通り今後も外国人観光客の増加が期待できると考えており、インバウンド対策には引き続き取り組んでいきたい。



多言語案内標識

観光PRスタッフの充実を

答
スタッフの育成は課題だが、充実していきたい



山下 巧 議員

◆所要時間 7分

外イベントのPRを充実させるためにも現在の単年度の「ミス八丈島」の他に、専門知識を持った「ミス八丈」、「八丈観光大使」など数年間継続して活躍していただけるスタッフの育成はできないか。

答 産業観光課主幹 島内外

近年八丈島を訪れる観光客の増加は、再び離島ブームを彷彿する予感さえする。メディアへの露出度と、きめ細かな情報の発信、特にプレミアム付き宿泊旅行商品券（しまぼ）は強力な後押しとなり功をなしていると考えられる。このような補助事業については期間限定だが、この機会に島の歴史・伝統文化・スポーツの受入れ体制を整備しつつ今後に繋げて行かなければならない。

のイベントで協力していただいている方はミス八丈島、元ミス八丈島、観光協会で委嘱している八丈ふるさと観光大使、八丈高校卒業生、事業者など多岐にわたっている。組織化されていないが、その都度連絡をとって協力をいただいている状況である。継続するPRスタッフの育成は町としても課題となっており、充実していきたいと考えている。ミス八丈島など継続して協力をいただけるようお

願っているが、難しい状況にある。協力して頂ける方については、情報提供をしていただきたい。

高齢者が元気で楽しめる島を目指すためにゲートボール場に倉庫を建て、憩いの場を作れないか。

答
利用団体と相談し検討する

問 富士ゲートボールにあるゲートボール・グラウンドゴ



富士ゲートボール場

ルフの建屋は15名程でいっぱいになり手狭になっていく。物置と兼用になっているため、競技用具を収納するプレハブの倉庫を建てることで、競技のない時は住民やゲストが交流する憩いの場として使えるよう、空調を入れ、気軽に利用できるようにしていただきたいかがか。

答 教育課主幹 富士グラ

ウンドの建屋は、この夏も非常に暑い状況もあった。その対策は必要であるので空調については前向きに取り組む。倉庫については利用団体と相談をし検討する。

問 宇喜多秀家公住居跡旧道の看板について

答 地権者と相談して設置を進める

問 宇喜多秀家公の史跡巡りは民間が屋敷を開放しその協力に甘んじているが、住居跡から旧道を通り墓所へ



宇喜多秀家公住居跡

行くコースと、逆に墓所から住居跡への道標の設置は出来ないか。迷った観光客に近隣の住民が頻繁に案内している現状である。

答 産業観光課主幹 宇喜多秀家公住居跡旧道の看板は地権者と相談し設置を進めたい。

歴史文化基本構想はいつ策定するのか

答 新歴史民俗資料館竣工の後



菊池 睦男 議員

◆所要時間 17分

歴史民俗資料館の一時移転も済んで、新歴史民俗資料館の建築が待たれるところである。八丈町は従来は、「歴史文化基本構想は平成31年に着手する」としていたが予算等の関係上、その実現を後退させるようである。いつの時点で具体化するのか。

答 教育課長 歴史民俗資料館の開館を鑑み、平成31年度の計画策定を見合わせたところである。平成30年第196回国会において文化財の法律が変わった。改正

点の一つは、平成31年4月から施行される文化財保存活用大綱の策定について定めると共に、文化財認定制度が設けられる。地域計画策定の流れは、国が指針を、都が大綱を策定し、それを受けて市町村は地域計画を策定する。地域計画策定においては、新歴史民俗資料館と、国、都の動向を見て考えるべきであると思うので、新歴史民俗資料館ができてから策定を考えていきたい。

「入学準備金」は入学前に支給せよ
答 3月上旬までに支給する

町長は「入学準備金は30年度補正で組んで31年度実

施という2段階で考えていく。来年度（31年度）から実施してまいります。」と答弁している。予算化するのはいつか。

答 教育課長 今年度の支給額は、国の基準に合わせて増額し、既に7月に支給した。来年度の支給については、今年12月上旬から年末を目途に申し込みを受け付け1月に判定を行い、対象者に連絡し、3月上旬までに支給する予定。予算の支出事務については、当年度と今年度を見比べて不足分が生じるのなら今年度の12月に補正予算を組むつもりである。

公民館使用基準等の改正について
答 地域ごとに住民説明会を開き、意見を聞く

八丈町は来年度から公民館使用料徴収等について大きな改定をしようとしてい

る。その理由を「受益者負担の原則」「負担の公平性」としている。

公民館設置の理念には戦後の一連の民主化の社会的背景がある。憲法26条（国民の教育を受ける権利、受けさせる義務）に基づき、教育基本法や社会教育法が制定され、それに基づき公民館の設置目的が設定された。その意を汲んで図書館や博物館は無料であり、公民館もそれと同じく「無料」でスタートしたのである。

答 今年の3月定例議会の諸議論の中で私は、「憲法26条」という基本的な考え方、公民館の設置理念、利用者

の声を聞くことが大事、特定団体の利用過多で競争する不都合は」等質問した。町長は「住民と大いに議論を重ねて減免制度を精査してまいります」と答えた。進展の模様はどうか。

答 教育課長 今年の第一回八丈町議会定例会において、過去の利用団体を集計し、利用団体の所管部門で減免範囲を再度精査し、その上で利用者の声を聞き、運用をしていくと回答した。現在庁内での検討が終わったので、地域ごとの住民説明会を行い、利用者の声をお聞きしたい。

答 住民の声を聞くことが大事。いろいろな声が上がると思うが、そういう声を聞いて進めてほしいがいかか。

答 住民の意見を聞いて、よりよい公民館の運営を考えていきたい。

（なお、菊池睦男議員は任期満了のため引退しました。）



第三回定例会の質疑から

水道事業の今後の赤字解消の見込み

沖山恵子議員 今回資本金を取り崩して精算したが、今後の赤字解消の見込みは。

企業課長 前々から水道料金の改定をしてはという質問を受けているが、値上げが単純に収益改善になるかということに疑問を感じている。収益が少なくなると今度は歳出を削減しなくてはいけない。施設が老朽化して漏水等が多いので、それはやりながら施設の縮小・統廃等考え経営改善を図りたい。

奥山幸子議員 閉栓件数とは、空き家になった場合にそこに水を供給する必要がないので栓をしめるということか。

企業課長 メーターは撤去しないまま休止にしているケースである。

奥山幸子議員 給水は止まるということとは、水道会計の経費としては削減できるのか。

企業課長 休止については3年を限度に手数料を頂いている。手数料は3年で消費税抜きで2千円だが、1件80円で毎月検針を委託しているの、逆に経費は掛かってい



奥山博文議員 赤字はま

奥山幸子議員 閉栓件数とは、空き家になった場合にそこに水を供給する必要がないので栓をしめるということか。

企業管理者 将来に向かっ

て赤字解消してくと言うことで見直しをしていく。

バスの中で広告が出せることをもっとPRしてはどうか

岩崎由美議員 乗り合いのバスの中に広告は可能か。

企業課長 有料で可能。

岩崎由美議員 民間企業等が広告を出すことは可能ということを知らない人たちがたくさんいるので、例えば観光協会とタイアップしてPRをもう少ししたらいいと思うが。また、広告費はいくらか。

企業課長 広告費はA3を一回り大きくした形の大きさで、1枚1日消費税抜きで3百円。アピールの方法も含め、考えていきたい。現在は町内のお知らせ等を掲示している。

病院の建替えのための基金の積み立てについて

奥山幸子議員 病院の建物

がすでに20年を経過しているということと建替えのための基金の積み立ては考えているか。

企業課長 具体的大規模改修計画等がはつきりできていないので計画とあわせて考えていきたい。

病院の職員不足について

奥山博文議員 看護師不足が感じられるが、今後の目は。

事務長 最低でも3名不足している。医療スタッフはホームページや人材派遣・紹介業者等で紹介してもらい、2名採用したが、採用しても他のスタッフが辞めしてしまう状況が続いている。

看護師だけでなく、レントゲン技師、薬剤師、助産師も不足しているの、今年度の新しい試みとして都の補助金を利用し、病院に實際来てもらい、病院説明会を行う予定。

八丈町の障害者の法定雇用率について

奥山博文議員 国の官庁が障害者の法定雇用率を乗せして大失敗しているが、八丈町は、パーセントや人数でいうとどのくらいか。

総務課長 平成30年9月4日現在、町の日標値は2・5%で職員の数とする3人の雇用となる。

障害者手帳を確認して1人対象者がいる。1人だが、級によって換算は2人なので、1名足りない状況。

奥山幸子議員 職員約250名で2・5%で3人はおかしくないか。

総務課長 事業所単位で本庁舎の職員を対象としている。

その後、職員数の把握に誤りがあることが判明し、不足数は2名となった。

町ナビ

八丈島で地熱発電事業に取り組むオリックスは、11月4日から地熱発電所周辺地域での電磁探査を開始した。自然界の電磁波を測定し、地下の比抵抗（電気の通りやすさ）を調べ、地下構造を推定する手がかかりとするためのもの。34ヶ所の各観測点に測定機器を設置し、1ヶ所で約3日間観測、データ収集を行う。結果はこれまでの各種地表調査などの結果と共に総合解析の基礎データとなる。



主な議決事項

9月定例会 平成30年9月4・5日開催

- 専決処分事項の報告及び承認について（平成30年度八丈町一般会計補正予算）ほか専決処分1件
- 八丈町教育委員会教育長の任命の同意について
- 八丈町教育委員会委員の任命の同意について
- 平成30年度八丈町一般会計補正予算ほか補正予算7件
- 八丈町職員定数条例の一部を改正する条例ほか条例改正3件
- 平成30年度農地防災事業暫立水路改修工事請負契約ほか契約5件
- 平成29年度八丈町水道事業会計決算認定についてほか決算認定2件
- 平成29年度八丈町病院事業会計継続費精算報告について
- 平成30年度八丈町水道事業会計資本金の額の減少について

10月臨時会 平成30年10月25日開催

- 八丈町消防委員会委員の選任について
- 八丈町監査委員の選任の同意について
- 平成30年度八丈町一般会計補正予算

主な会議事項

議会運営委員会 平成30年8月28日開催

- 平成30年第三回八丈町議会定例会について

総務文教委員会

経済企業委員会 平成30年10月25日開催

議会運営委員会

- 正副委員長互選

全員協議会 平成30年8月17日開催

- 防災行政無線のデジタル化についてほか5件

全員協議会 平成30年10月25日開催

編集後記

冬の豪雪、西日本豪雨、酷暑の夏、台風20・21号、そして北海道胆振東部地震…。2018年は、国内で大規模な自然災害が頻発した年でした。来る災害に備え、5月には「八丈島の噴火警戒レベル」の運用が始まった他、東京都では八丈島で562カ所の土砂災害警戒区域の指定を予定しています。また、大きな津波をもたらすであろう南海トラ

フ巨大地震もやがて起こることでしょう。いつ起こるかわからない自然災害に対する備えを、各人が常日頃より本気で考えていかなければと思う今日この頃です。さて、10月に改選が行われ「議会だより編集委員会」も新体制となりました。次号より新企画も検討していますので、引き続きどうぞよろしくをお願いいたします。 岩崎由美

発行人 八丈町議会議長 奥山 博文

編集 議会だより編集委員会 委員 宮崎陽子 山下則子 沖山恵子 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437